

医労連速報 '13春闘

2013年4月9日 No21 東京都台東区入谷 1-9-5 日本医労連 tel 03-3875-5871

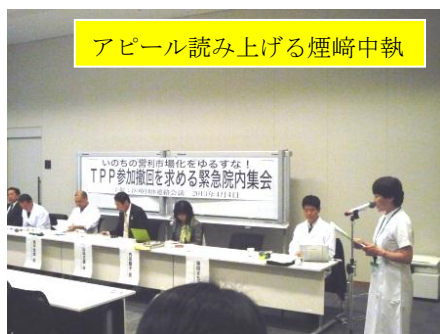
9~11日「回答追い上げ集中ゾーン」 全国、奮闘中!!!

3月25日~27日の「回答促進・引き出しゾーン」で全国が奮闘、ベア回答組合が4組合増え、36組合となりました。東京民医労健友会支部は、1次回答での准看護師にベアがない、看護と介護の夜勤手当差別などの改善を求め、3月14日もストライキで決起し、2次回答ではベア(1,940円)・手当を上積みさせました。また愛知・堀尾安城労組も、1,000円のベアを引き出しました。

国共病組は4月8日、新給与制度について、夏季一時金への勤務評価と病院実績の反映の中止、10月昇給の勤務評価の反映の中止、人工透析従事手当廃止の撤回などを強く求め、連合会の強硬姿勢を崩し、「新給与制度の交渉は継続する、問題があれば見直す」との回答を引き出し、10日予定のストライキを中止にしています。

今週の「追い上げ集中ゾーン」、全国が団交設定で奮闘中です。

医団連行動4弾 TPP参加撤回求める緊急院内集会



アピール読み上げる煙崎中執

4月4日、医団連「いのちの営利市場化を許すな! TPP参加撤回を求める緊急院内集会」を開催、170名(医労連は長野からの参加者も含め約20名)が参加しました。参加の国会議員・秘書は19名(自民7、民主3、維新1、共産4、生活1、社民2、みどり1のうち、本人出席7名が挨拶)、マスコミは12社18名(朝日新聞、共同通信、建設政策、しんぶん赤旗、住民と自治、地域医療総合研究所、東京民報、日経メディカル、日本医事新報、日本歯科新聞、日本農業新聞、北海道新聞)が参加し、日経メディカル、日本農業新聞、赤旗が取り上げました。

集会は、内田聖子さん(アジア太平洋資料センター事務局長)、山田正彦氏(元農水大臣)、色平哲郎氏(佐久総合病院内科医)など4名が、TPP参加撤回を求める発言をし、集会アピールを全体で確認しました。午後から、国会議員要請と内閣府にアピール提出、17時からは、日本共産党の高橋千鶴子議員同席で、梶屋厚労副大臣(公明党)にTPP参加撤回を求める要望書を提出しました。要請団は、保険証を持っていても自己負担分が不安で受診が遅れて死亡したケースも紹介し、「皆保険が守られなければ国民の命が危ない。国益=国民の利益となるように」と強く要望しました。

梶屋副大臣(右から3人目)に要請



回答引き出し 233 組合、ベア 36 組合、単純平均ベア 690 円、全体額 5,327 円